



AA日本ニューズレター

NPO法人AA日本ゼネラルサービス (J S O)

No.146

第16回AA全国評議会が開催されました 於：川崎グランドホテル

AA全国評議会

2011年2月11日、12日、13日の3日間にわたり、熱い議論が行われました。全国7地域からグループの良心を携えた評議員が川崎市の川崎グランドホテルに集まり、常任理事会、J S O スタッフと共に、AAの大きな目的達成のための本年度の方針などを審議し、この一年間のテーマ「私の責任」を採択しました。

議論の詳細は各地域の評議会報告で伝えられ、評議会報告書が各グループに送られます。

国際出版基金

昨年6月10日のAA記念日を挟んで国際協力献金の呼びかけが行われ56万円以上の献金がJ S Oに届けられました。

国際協力委員会の判断でW S M事務局、国際出版基金、A O S M事務局へそれぞれ昨年秋に献金を送りました。

アメリカ/カナダAA常任理事会より、日本の国際出版基金に対する感謝の言葉が届きましたのでご紹介します。

国際出版基金へのご協力に対し、アメリカ/カナダ常任理事会、NY G S O スタッフ、そして世界中のAAを代表して、感謝の言葉をお伝えできることをうれしく思います。

このような、世界に広がる伝統7に基づいたスピリチュアリティ（霊性）によって、AAの回復のメッセージを運ぶための書籍を作ることができます。

現在、評議会承認出版物は、70を超える言語で活用されており、180か国において、AAのメッセージを受け取ったアルコール依存症の人が希望の光の中を歩き始めています。彼らにとって翻訳は欠かすことのできないものです。

日本のAAによる寛大な協力は、他の国のAAが、自分たちの役割と12番目のステップ活動を、極めて重要な全体の福利であると認識するのに、大きな励みとなることでしょう。

この貢献を続けてくださっていることに、心からの感謝をお伝えしたいと思います。

出版局からのお知らせ

『アルコール依存症・匿名回復の物語』シリーズの第2弾が発売開始となりました！（頒価300円）

英語版『アルコール依存症・匿名回復の物語』（ビッグブック）の後半に収録されているAAメンバーの回復の物語の日本語翻訳版です。昨年1月に発行された第1集は、共感と感動をもって迎えられ、広く普及され、回復への連鎖を広げました。

今回は、＜第1部：AAのパイオニアたち＞から、最初の女性メンバーによる「女性も苦しむ」と、「恐れを克服した男」、＜第2部：時間があるうちに酒をやめた人たち＞から、「医者不養生」と、新たに翻訳改訂された「受け入れることが答え

だった」、＜第3部：ほとんどすべてを失った人たち＞から、「二度与えられた贈り物」と、「回復のビジョン」の6編が収録されています。これらのAAメンバーの多様な回復の物語は、読む者に勇気を与え、アルコール依存症からの回復への希望を与えてくれることでしょう。広くご活用ください。

改訂版発行のお知らせ

パンフレット『ビギナーズミーティングを進めるにあたって』は、原本の改訂に伴い、日本語翻訳版を改訂いたします。タイトルについても、『新しい人を迎えるために』へ改題し、装丁と価格も変更いたします。このパンフレットは、グループやミーティング進行役が、AAに初めて来た人やまだ慣れていない人に対して、どのように対応するのが効果的なのかを提案しているものです。しかしながら、これまでのタイトルでは、「ビギナーズミーティングをしているグループ向け」という印象が強かったため、他の書籍ほど活用されてきませんでした。進行役だけでなく、すべてのグループやメンバーに役立つ内容です。

装丁と価格は、『アノニシティ』や『AA以外の会合で話をするには』と同様、A4サイズ/100円となります。

大切なニューカマーにとって居心地のよいミーティングが提供できるよう、ぜひご活用ください。

各地域からのおたより

1975年3月、東京、蒲田のミーティング場で初めての日本語ステップ・ミーティングが開催され、その時をAA日本の始まりとして…「いくたびの出会いを重ねて」1ページより

1981年10月に信濃町にAAオフィスが誕生し全体サービスへの取り組みが開始されました。さらに、日本を7つの地域に分けて、きめ細かく全国へAAプログラムを伝える方針の基に活動してきました。第1回G S M（ゼネラルサービスミーティング）が1989年10月に開催され熱い議論が行われました。このG S M時代に各地域サービスの拠点としてセントラルオフィス構想が展開、実行されて行きました。

その後、評議会・常任理事会機構がG S Mを受け継ぎ、全体サービスと地元（ローカル）サービスの両輪がAAの目的達成に向けて活動を行ってきました。

地元（ローカル）のサービスを担って行くグループ間の連携やアルコール依存症・家族、その周囲にいる専門家との交流や情報伝達の要として、毎日のミーティング情報などを正確に伝えるAAの最前線基地としてAAサービスの一翼を支えてきました。もちろんすべて順調にきたわけではありませんが、それぞれの地域でAAの目的達成のために献身的なサービス活動を日々続けています。

旅行や出張の際にミーティング案内が欲しい！知り合いに情報を送りたい！各地のCOから今日の便りをもらいました。

原稿はJ S Oに到着した順番に掲載しています。

東北セントラルオフィス（TCO）

今日一日

AAのサービス機関としてセントラルオフィスが果たすべき責任とは何だろうか？そして、今の東北セントラルオフィスはその責任を果たしているのだろうか？10年以上において東北セントラルオフィスが抱えてきた問題です。

東北セントラルオフィスの現状について少し述べさせていただきます。現在、東北セントラルオフィスは職員不在状態です。こんな状態が約2年半続いています。この2年半は多くのボランティアメンバーによって東北セントラルオフィスは運営されてきました。また収支関係ですが2010年を例にしますと収入が約100万円、支出が約108万円という赤字決算となりました。

このようなことから2010年にはオフィス集会にて東北セントラルオフィスの存続について議論されました。その時の意見を大まかに分類すると2つの意見となりました。

1. オフィスは東北における外部との唯一の窓口であり必要不可欠なものである。よって色々工夫しながら何とか存続すべきである。
2. たしかにオフィスは必要不可欠なものであるが今の不完全な状態で運営を続けていくには無理が生じる。よって一度休止休眠状態として地域のグループや仲間に対して問いかけていくべきである。

東北としては長い間苦しんできた問題です。当然のことですが多くの意見が取り交わされました。結果としてオフィス集会では存続することが選択されました。

自分も議決権を所有していたので自分のある経験と照らし合わせて2つの意見について考えてみました。未だミーティングに通う事が苦しかった頃の経験です。ミーティングに行かなくてもすむように「仕事が忙しいから通うための時間が無い」「ミーティング場所が近いところに無いから通えない」「通う回数を減らしてそれでういた電車代を献金にまわしたほうがAAのためには良いはず」等の言い訳を考えていました。確かに今考えると言い訳ですが当時の自分としては正当な意見でした。先行く仲間に「飲まない生活とは全てにおいて今日一日」というメッセージを頂きながらも自分の誤った正当性だけに酔いしれていたのです。そんな経験から自分は存続を選択しました。

存続することを選択した責任を果たすべく現在は微力ですが東北セントラルオフィスの運営に関わっています。今年初めのAAのフェローシップで書初めをする機会がありました。自分はそこに「夢・愛・力」と書かせて頂きました。多くの仲間と夢を語らう事は力に変わっていく。そう信じています。

最後になりますが全体サービスに位置する「ニューズレター」にセントラルオフィスの事をテーマにする今回の企画に対して驚きそして喜びました。数あるオフィスの中で東北セントラルオフィスは遅れていて苦しんでいるオフィスであるかもしれませんが。でもその為に多くの経験を積んできました。多分他のオフィスも同様で多くの経験を積んできていると思います。その経験の分かち合いを私は必要であると考えてきました。何故なら一番の財産である「経験」を聞く事、そして語る事が私達にとって一番必要であり大事な事だと思うからです。今回の事がきっかけとなり大きな分かち合いになる事を祈っています。ありがとうございました。



中四国セントラルオフィス（CSCO）

「中四国セントラルオフィスからの便り」

中四国セントラルオフィスは平成2年1990年11月に設立され、2004年4月に現在の場所（広島市中区大手町）に移転しました。1998年頃から、ホームページ「AA中四国地域情報」をWEB上に掲載しています。AAメンバー・関係機関そして未来のAAメンバー・家族の方々にぜひ活用していただいていると自負しています。

2011年2月現在地域登録されているグループは45グループ余・地区は4地区あります。地域に登録されているグループについてオフィス職員管理の下、ホームページ上にミーティングの曜日・時間・場所等の掲載、地区や地域のイベント・集会の掲載をしています。ミーティングの中止・会場変更等のお知らせがあればホームページ上にできるだけ早く反映し、AAの情報を探している方に、迅速そして正確に情報が伝わるよう努めています。

2009年10月暮れ約20年中四国セントラルオフィスの所長を勤められた中常さんが亡くなられ、現在は松島が職員を勤めています。私にとりまして中常さんはAAプログラムのステップとサービスのスポンサーシップをしてくださった親代わりのような方で、この世での2度目の人生の再教育をしていただきました。中常さんが命がけで、私たちに何を伝えようとしたのか、暗中模索の毎日が続いています。

セントラルオフィスの役割は(AA日本サービスガイド1997より抜粋)「地域のまだ苦しんでいるアルコールクと回復を願っているすべての人たちはもちろんのこと、医療・行政関係者やAAを社会資源として認識する機関がAAに連絡を取るための重要な窓口である。」ですが、中四国セントラルオフィスが前述のように地域の中での役割を十分に果たしているかどうかは地域のメンバーたちのご判断にゆだねるしかなく、職員自身は日々の業務を誠実にこなしていく努力を続けていくしかありません。ただ、職員になってみて痛感することは、何しろ一人しかいない職員であり、未熟を極めたような人間である故、思い迷うこともたびたびで、孤独を感じることもたびたびあります。そんな時、中四国地域はもちろん他地域の仲間やAAのよき友人の言葉や行動そして献金による支援が何よりも勇気を与えてくれます。それに加え、オフィススタッフワークショップが毎年1回開催されて、他地域のオフィススタッフの方々のご意見を伺ったり、お知恵を拝借できます。これで随分とこの1年間助けていただいた思いがあります。

中四国セントラルオフィスが地域の窓口としてさらに充実していくためにはまだまだ時間を要することと思いますが、地域におけるAAの灯台の明かりが消えることのないよう祈ると同時に、職員として、AAメンバーとして日々の努力を怠らぬよう努めたいと思っています。

中部北陸セントラルオフィス（CHCO）

南向きの明るい部屋の窓から名古屋城や名駅ビル群を眺めることができる当オフィスは、地下鉄黒川駅から近く、近隣に大小会議室を持つ総合庁舎もあるという利便性の良いオフィスビルの一室を借りて、1989年10月に開設された。当時20弱だったグループ数も、今では40前後に増えオフィスを支えて

いる。

以前の運営委員は、富山/石川/福井/岐阜/愛知/静岡の6県から集まる代議員集会で選任されていたが、2002年からはグループが選出した委員によるオフィス委員会が発足し、選出母体はオフィス集会へ移った。

2011年はグループの良心を託された11名が、CHCOの事業運営に関わっている。オフィス委員会は年4回開催され、運営委員3名と職員による運営委員会は年6回開催される。オフィス集会は年1回開催され、運営委員選出・予算承認・運営方針や諸活動について、真剣に審議し合い決議が行なわれている。

オフィス委員会や運営委員会ではAAガイドライン「セントラル/インターグループオフィス」を読み合せ、ガイドラインに沿った事業運営の充実を図ることを心がけている。

また歴代運営委員は概念の重要性を認識し、毎回「WSの12の概念」を読み合せ、サービスの基本を理解することを受け継いでいる。

運営委員はその経験を次へ伝えていけるよう4年の任期で設定されており、集会で可決されれば更に1年サポートとして在任できる。

運営委員会は真面目に誠実な運営を目指し、重要な決議は満場一致を、単なる“善”ではなく“最善”を選ぶことを、重んじている。

会計は運営費と事業費に区別され、献金は運営資金として、書籍事業は輸送費を含み50万円に設定され利益は運営基金に繰り入れている。これは概念12/順守事項2に従って不測事態や大型出費に備えた基金と予備金の設定を確立したものであり、現在では、運営基金・パソコン基金・賃貸契約基金が確保運用されている。昨年は前年度財政困難により運営基金から50万円取崩し対応したが、昨年度回復を見たため今年期首に全額返却した。

また数々の経験を経たCHCOは、ガイドラインにある財政上の責任を果たすため法人化について検討され、実施に向けて調整中である。

現在は上記2つの委員会に加え、ホームページ管理運営を行なう広報部会、初めての方をサポートする12ステップコール部会、オフィスの実務援助するサービスサポート部会の3部会が活動し、CHCOの業務を支えている。

現職員は4代目だが、初代職員だった当時、J S O職員から2つの提案を受けたという。

1・AA出版物は全て読むこと

2・事務所で自分の財布を開けないこと

職員として、書籍熟読はAAを正確に伝えるために、またオフィスと私事を明確に区別するために、この貴重な助言を肝に銘じ、代々CHCO職員に伝え続けて欲しいと願っている。

関東甲信越セントラルオフィス（KKCO）

現在、関東甲信越地域では、1都9県にまたがり、登録グループ数220、週に578か所で会場を開いております。首都圏を擁しているため、グループ数も非常に多く、会場も暫時、増加傾向にあります。過去5年間だけを見ても、50あまりのグループが新設され、今後もミーティング会場の増加が見込まれます。

主要な業務は、ミーティング会場のご案内や、関係機関へのご紹介、毎月の各委員会の定期印刷物の代理発送、毎月のスケ

ジュールを記したミーティング一覧や地域情報誌「かわらばん」の作成・印刷・発送などを中心に、メッセージ活動の後方支援を行っています。

また、当オフィスでは、「AA発行の書籍の頒布」「バースデーメダル頒布」をおこなっております。電話・FAX・メールをふくめると、平均して一日に5件にのぼるご注文があり、現在も増える傾向にあります。とくにメダルはAAの中では当オフィスのみ扱いですので、近年は全国のグループからご注文が舞い込むようになりました。うれしいことにインターネットの普及によって、電子メールによるご注文がとても増え、北は北海道から南は沖縄まで、ワンデーメダルから35年メダルにいたる、さまざまなメダルの発送を毎日のように行っています。

ときおり、他地域のメンバーの方が、来客としていらしたり、東京に出張や旅行をするので、「出先にミーティング会場はないか」との熱心なお問い合わせもごさいます。もし時間と都合がゆるすのであれば、東京においでの際は、ぜひ当オフィスにお立ちよりください。

当オフィスの最近の動向としては、他の地域のオフィス同様「社団法人化」を進めることが決定しております。より安全かつ健全な、透明性の高いオフィス運営が円滑に進められるよう、可及的速やかに実現するよう動いているところです。」

関西セントラルオフィス（KCO）

AA 関西セントラルオフィスの現状紹介

AA 関西セントラルオフィスは、関西地域（滋賀県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）のAAグループによって支えられている。

2011年2月現在のグループ数は74、関西の特殊事情ではあるがグループにはまだなっていない“ミーティング”と称するものが14、女性ミーティングが9、その他（医療/福祉援助者、ヤング、英語）5となっている。また、ミーティングの会場数は、一週間の延べ数で155カ所であるが、その多くが都市部に集中している。

KCO 事務所は、大阪市西区にあり、地下鉄各路線から比較的アクセスしやすいマンションの一室にある。

KCO 運営は、運営委員会（委員長、財務担当、広報担当、セクレタリー、職員）と年4回開催のオフィス集会（オフィス委員出席）とで行っている。ウィークデイの日常業務は、職員1名が処理し、日曜・祝日の午後だけメンバーの留守番ボランティアが詰めているが、土曜日はお休みとしている。また、月一回発行のエリア情報他の印刷・発行・発送、「AA 関西ミーティング案内（地図付き）」の作成・印刷・製本、書籍管理などにメンバーのボランティアによる多大なお力添えを得ている。

関西の三大イベントであるコンベンション、ラウンドアップ、迎春ワークショップについてはその都度メンバーによる実行委員会を構成し、開催している。その他、矯正施設委員会、献金とボランティアワークショップ、KCO 季刊誌のぶどう樹編集委員会などがあるが、昨今、アルコール問題がマスコミで取り上げられることが多く、かつ、AAの知名度が高まってきた関係か、医療・福祉・行政・教育機関等からAA紹介を兼ねたメッセージの要請が増加してきたので、従来から実施しているメッセージは各地区で対応してもらうこととして、新規のものに対する受け皿として新たに運営委員会内に広報委員会を設置した。また、2009年7月から「AA 関西地域情報」ホームページ

を一般向けに立ち上げたが、これを閲覧した本人、家族、医療関係者等からの KCO への電話・メールでの問い合わせも増加している。

財務的には、2008 年秋に KCO 存続が危ぶまれる財政危機に陥ったが、各グループ・各メンバーの絶大なる協力と経費節減に努めた結果、現在は健全な財務運営ができていると自負している。

今後とも関西のサービスセンターとしてなお一層尽力していきます。

北海道セントラルオフィス (HCO)

1 月の厳しい寒さと雪の多さに、いったい通勤に何時間かかるのか不安な毎日でした。オフィスに入り、まずストーブをつけ部屋を暖めるのに 1 時間くらいかかり、ダウンコートを着ながら机に向かう日が続きました。

2009 年 9 月から何も分からない状況の中でオフィスに関わりました。電話で「はい、北海道セントラルオフィスです」と言えず、カミながらの対応に仲間から、「あわてて舌嚙むなよ!」と笑われながらのスタートでした。

特に、パソコンは初心者なのでマウスと悪戦苦闘の毎日が続き、運営委員、ボランティアメンバーには、大変な迷惑をかけてしまいました。おかげさまで今は何とか日常の操作ができるようになりました。

現在、オフィスは 11 時から 16 時、土、日、祭日休みでボランティアスタッフが週 2 日間で交代で業務を行っています

毎日の業務は仲間、関係機関、初めてミーティングに参加したい、家族からのミーティングの問合せ、書籍の注文、発注、一般会計、書籍会計、書籍仕入れ、在庫管理などです

毎月、第 2 週目に定期便、どさんこ便り、地域情報、北海道ミーティング案内の原稿の作成、印刷をボランティアの協力で発送します、これが一番大変な作業かもしれません。

1、2 月は新規の登録など資料作成、4 月期の地域集会、セントラルオフィス委員会の準備など、ほとんどの処理を運営委員がそれぞれ適切に行動してくれています

北海道は雪が降るところから、イベント関係がありませんが、雪が解け、緑が芽をだすのと同じ頃にとっても活発になります。

オフィスに関わり今の北海道地域の現状を考えると、グループは増えても、なかなか増えない献金の中で、効率的なオフィスの運営を考えていかなければなりません。業務時間の短縮、賃金の見直しなど状況に合わせたサービス、特に外部に対するサービスの内容など課題が多くあると思います

しかし、毎日のようにかかってくる電話の向こうから、「何とか酒を止めたいんだ」、「今とても苦しいんだ」、「息子が、娘がおかしい、見ている自分もおかしくなりそうだ」、そんな叫びを聞くたびにオフィスの大きな役割を感じています。何か役に立てればと、メンバーから勇気をもらい新たな気持ちで業務についています。昨年はグループの自立的、各イベント関係の委員の方々、特にオフィス運営委員のメンバーに沢山の協力していただきました。ありがとうございました。

2 年目に入り、オフィス業務が少しでもスムーズに動いて情

報が利用されるようにしていきたいと思います。

北海道はまだ雪が多く、それでも春が来るのを楽しみに寒いオフィスの中で電話をまっています。

九州沖縄セントラルオフィス (KOCO)

当初、鹿児島セントラルオフィスだったのが、九州・沖縄地域のセントラルオフィスとして、桜島が目の前に聳える、鹿児島市祇園之洲のアパートの 1 室で業務を始めて 20 年あまり。

現在、九州・沖縄 8 県で 70 のグループ登録があり、日常の業務としてはミーティング会場の案内や関係機関からの問い合わせへの対応、定期刊行物の発送や AA 発行書籍の頒布が主な教務となっております。その中でも、ここ 1 年ほど、書籍頒布の割合が増えて来ており、メンバーはもちろんのこと、関係機関からの関心が高まりつつあるような感じを受けております。

九州・沖縄のセントラルオフィスの歴史の中で、3 年半前の職員の不祥事という大きな汚点を忘れる訳にはいきません。オフィス委員会は定期的に開催されていたものの、オフィス運営委員会が諸般の事情で解散してしまい、運営委員会の再構築をということがなされないまま、職員 1 人を信頼しオフィス運営の全てを任せてしまい、破綻の状態にまで陥ってしまいました。その緊急事態の中で、地域のメンバーは勿論のこと、全国の多くのメンバーに助けて頂いたことに感謝しており、決して忘れるものでもありません。

3 年半経ってどうにか持ち直しつつある現在でも、メンバーの不信感はまだまだ多く残っている状態だと思いますので、信頼を得られるようなオフィス体勢を 1 日でも早くと考えているところであります。

事件後、地域での話し合い、アンケート等を経て、献金の管理をオフィス委員長、会計、職員による分担管理とし、メッセージ登録もメンバーに再度登録し直してもらおう等、いろいろな問題が起きる度にオフィス委員会で話合っておりますが、オフィス委員会、運営委員会、職員が不慣れなこともこともあり、メンバーからの不満の声もいくらか聞こえてきますが、無名性を重んじる AA の連絡先として、苦しんでいるアルコールクに AA の愛の手が届くように努力し、メンバーの手助けがスムーズに出来るように、これからも精進していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

各地域のセントラルオフィス 連絡先

北海道セントラルオフィス	011-557-4329
東北セントラルオフィス	022-276-5210
関東甲信越セントラルオフィス	03-5957-3506
中部北陸セントラルオフィス	052-915-1602
関西セントラルオフィス	06-6536-0828
中四国セントラルオフィス	082-246-8606
九州沖縄セントラルオフィス	099-248-0057

業務時間等は JSO ホームページをご参照ください

編集・発行： NPO 法人 AA 日本ゼネラルサービス (JSO)

〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 4F Tel:03-3590-5377 Fax:03-3590-5419

<http://www.aajapan.org> jso-10@fol.hi-ho.ne.jp

(月～金) 10:00～18:00 (土・日・祝) 休